

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	三和地域活性化事業										事業コード	020110130312					
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち							政策目標	3 地域に参画する新たな担い手の拡充							
	施策名	2 関係人口としての福知山ファンの獲得								施策コード		132					
事業担当	所属	020800 市民生活部三和支所							所属長	井上 浩人							
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	10 地域交流推進費			会計	01 一般会計		決算附属資料	83		頁
計画期間	開始年度	平成17年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	一				R7現在の状況		継続中			
根拠法令等	一																
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (																

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・三和ふれあいフェスティバルは、三和地域外からも多数の参加がある三和地域における最大のイベントである。住民が主体のイベントで、地元団体等で構成される実行委員会が運営する。事務局は三和地域協議会。昭和40年代の三和町時代の農林業祭からスタートし、現在では作品展示、舞台発表、屋外模擬店及び農林産物品評会・販売、各種啓発の場となっている。 ・当地域の人口減・高齢化が進行する中で模擬店の出店・文化活動の発表の場を定める人やグループ・多様化する活動内容の受け皿として、地域の自主運営を基盤にした参加型※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ										
課題 (3行程度以内)	基本的には地域住民で組織される実行委員会が協議・決定・準備をしているが、一部の業務や人材等で市の支援を必要としているのが現実である。今後、準備や作業等に関して実行委員一人ひとりが準備から本番、片付けに至るまで、より主体的に実施する必要がある。また、実行委員の高齢化も進み、組織体制自体の維持も危ぶまれることから、若年層及び中年層の取り込みを意識した企画等の立案及び実行が必要である。										
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 三和ふれあいフェスティバルは、三和地域最大のイベントとして地元団体等で構成される実行委員会が企画、運営し、住民が主体的に参加する手作りイベントである。屋外模擬店や農林産物品評会・販売のほか、作品展示、舞台発表など生涯学習の発表の場として、子どもから高齢者まで幅広い世代の参加と地域力を高揚させるイベントとなっており、また、三和地域の取り組みを外部に発信することにより、地域の振興及び活性化を図ることを目的としている。										
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのかを箇条書きで記載すること ・地域主体のイベントである「三和ふれあいフェスティバル」に対する助成。 ・運営は実行委員会で行い、対象経費の1/2に対し、市の補助金を交付する(令和2年度及び3年度は、新型コロナウイルス感染症対策によるイベント中止のため未実施)。										
対象者	三和地域の市民及び一般参加者					対象者数	4,500		単位あたりコスト	0.6	
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (										

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	950		950		500		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		950		950		500		0						
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	950		950		500		0						
決算情報	① 流充用額	△ 503		0										
	② 配当予算	447		950										
	③ 執行額	447		427										
	④ 執行率	100.0%		44.9%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.22	/	0.18	0.19	/	0.19			/				
	② 概算人件費	2,264		2,052										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		2,711		2,479										
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	三和地域活性化事業基金繰入(地域振興基金)			種類	基金繰入金		実績金額	427		決算附属資料	36		頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人		1000	2500	3800			
		目標値			4500	2000	3000	4000	4000	
		来場者数	達成度	%	22%	125%	127%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回		5	5	3			
	広報手段数	当初見込			5	5	5	5	5	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
	実行委員会を密に行い、様々な課題の検討及び合意形成を行うことで、運営の機運を高め魅力あるイベントづくりを実現し、集客の増進を図る。									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	団体		44	64	64			
		目標値			65	65	65	65	65	
		延べ参加団体数	達成度	%	68%	98%	98%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回		4	4	4			
	実行委員会開催回数	当初見込			5	5	5	5	5	
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
	実行委員会を密に行い、実行委員会事務局において、ロコミ等による参加団体の募集や広報を行うことで、団体の継続的な参加や新規参加団体の獲得を図る。									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	・当地域の人口減、高齢化が進行する中で模擬店の出店、文化活動の発表の場を求める人やグループ、多様化する活動内容の受け皿として、地域の自主運営を基底にした参加型イベントとして定着している。 ・将来的に人口の減少、高齢化の進行が予想されることから、自治組織や団体の弱体化、人材不足に伴うイベントそのものの存続が危惧される。 ・本イベントが地域の活性化に繋げられるよう意識し、地域自体が主体性を持って運営する持続可能な内容を検討していく必要がある。 ・長田野工業団地アネックス京都三和の敷地を駐車場として確保できなくなったため、送迎に伴うシャトルバスの運行費用等が減少したことで執行率が低下した。	
現状の課題 に対する 改善策	・三和ふれあいフェスティバルについては、実行委員会を中心に地域住民で作り上げる、三和地域の交流促進、地域活力の向上のための最も重要なイベントであり、引き続き企業や住民などから寄付金を募り、住民が一丸となって存続を図る。 ・実行委員会において、事務局を中心に現状の諸課題について積極的に検証することで、持続的な実施方法を検討する。	

| 事業属性

(単位：千円)

II 事業基礎情報

III 予算執行状況

主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	自動販売機設置貸付収入(大江支所)	種類	財産貸付収入	実績金額	210	決算附属資料	32	頁
		自動販売機等電気代(大江町地域振興センター)		雑入		17		44	
		地域振興センター占有者負担金		雑入		270		46	

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	34244	38678	37051			
	大江駅乗降者数	目標値		50000	50000	50000	50000	50000	
			達成度	%	68%	77%	74%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	2	2	2			
	大江駅周辺イベント回数	当初見込		2	2	2	2	2	
	活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							
地域振興センターの光熱水費を支出し、施設の機能を維持する。									

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
	活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	当施設は、京都丹後鉄道大江駅の機能を有するため、不可欠な施設であり、大江地域を訪れる方々に、きめ細やかな対応ができていることから、現在の事業規模で継続的に実施する。 関係課及び関係団体と連携し、大江地域の玄関口としての賑わいの創出と京都丹後鉄道の利用を増加させる施策を実施していくためのインフラ事業として継続する必要がある。また、新型コロナにより中止になったイベントも再開され、賑わいの創出に繋がっている。 空調機の不調など、施設の老朽化に対する対策が必要である。	
現状の課題に対する改善策	大江の玄関口として観光客や訪問者が快適に利用できるよう、経年劣化が進む施設的美観維持、設備等のメンテナンスを行うとともに、振興社と連携したイベントや物販機能の強化を通じて魅力向上を図る。 加えて、駅舎だけでなく鬼瓦公園はじめ周辺環境向上のため他部署や関係機関と連携した取り組みを行う。	

1 事業属性

(単位：千円)

事業名	ホームページ運営事業							事業コード	020102820107		
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち					政策目標	3 地域に参画する新たな担い手の拡充			
	施策名	2 関係人口としての福知山ファンの獲得						施策コード	132		
事業担当	所属	030200 市長公室秘書広報課					所属長	横山 美和子			
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	02 文書広報費	会計	01 一般会計	決算附属資料	65	頁
計画期間	開始年度	平成13年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	第6次福知山市行政改革実施計画			R7現在の状況	継続中	
根拠法令等	-										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()										
関連事業	-										

[illegible]

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ホームページから市政、子育て応援関連、シティプロモーション関連、明光光秀関連、観光情報などを全国に発信することで、本市に対する理解と周知を図っていく。市民や市外の人にとって、利用価値のあるホームページとなるよう、頻繁に情報の更新を行うことで内容の充実を図る。	
----------------------------------	--	--

課題	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ
(3行程度以内)	・各職員がホームページの更新をはじめとする効果的な広報のタイミングを理解することが求められる。 ・各SNSの活用が進むにつれ、ホームページのアクセス数は減少傾向にある。

※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入）

事業目的
(5行程度以内)

本市のリアルタイムな情報を発信し、市民サービスを充実するとともに、本市の魅力を広く発信する。さらには、災害など有事の際に、迅速、的確な情報を伝えることで、市民の安心・安全な暮らしを確保する。

実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・各担当課によるホームページの更新 ・緊急情報の迅速・適切な発信 ・LINE、フェイスブック、インスタグラム、X、noteによる情報発信
---------------------------------	--

対象者	市民・不特定多数の人々	対象者数	75,000	単位あたりコスト	0.1
-----	-------------	------	--------	----------	-----

実施方法	☒ 直接実施	☒ 業務委託	☐ 指定管理	☐ 補助金交付	☐ その他	()
------	--	--	-------------------------------	--------------------------------	------------------------------	-----

委託先・実施主体等	福泉(株)
-----------	-------

主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績 (R6)	主な業務内容	費目	実績 (R6)	主な業務内容
	役務費	73	SNS更新用タブレットの通信費			
	委託料	879	ホームページ運営保守管理業務			

区 分	
-----	--

区 分	R5(評価前年度)	R6(評価年度)	R7(本年度)	R8(要求年度)
① 当初予算	4,654	915	953	
② 補正予算	0	0	0	
③ 繰越予算	0	0	0	
前年度繰越	0	0	0	
次年度繰越	0	0	0	
小計(①～③)	4,654	915	953	

予算財源内訳	① 一般財源	3,926	187	225	0
	② 国支出金	0	0	0	0
	③ 府支出金	0	0	0	0
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	728	728	728	0

決算情報	① 流充用額	△ 77	37		
	② 配当予算	4,577	952		
	③ 執行額	4,374	952		
	④ 執行率	95.6%	100.0%		

人 工 算	① 従事職員数 (正職員/全計年度任用職員)	0.58	/	0.00	0.50	/	0.00	/
	② 概算人件費	4,640			4,000			

トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	9,014	4,952		
--------------------------	-------	-------	--	--

主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	ホームページ広告料(秘書広報課)	種類	雑入	実績金額	17	決算附属資料	42	頁
		ホームページ保守業務負担金		雑入		101		48	

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	件	250802	163270	156026			
		目標値		150000	150000	150000	150000	150000	
	市公式ホームページのセッション数(月平均)		達成度	%	167%	109%	104%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	3108	3622	4397			
	市公式ホームページへの更新回数	当初見込		3000	3000	3000	3000	3000	
	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
活動内容① (アクティビティ)	市職員全てが情報発信者である意識を持ち、効果的に情報発信するために、職員広報研修等により継続的に学ぶ機会を設ける。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
活動内容② (アクティビティ)									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	平成31年2月28日にホームページをリニューアルし、今まで以上に利用者の利便性向上と事務の効率化を図り、広く市内外に本市の情報発信できる環境を整備した。また、災害時には専用のトップページに切り替え、アクセスが集中しても継続して情報発信することが可能となった。各担当課がページを作成し、秘書広報課で管理等を行いながら、的確な情報発信に努めている。 また、ホームページリニューアル時に、議会事務局、市民病院、上下水道部のHPを市HPに統合、さらに令和元年度において消防のHPを統合することで、経費の削減を図った。 令和6年度から発令されている熱中症警戒アラートについても、ホームページを中心に各SNSも活用し、迅速、的確に発信するなど、市民が求める情報を発信することができている。 課題は、全職員がページの更新をはじめとする効果的な広報のタイミングとアクセシビリティを向上させることである。	
現状の課題 に対する 改善策	インターネット上での福知山市の顔となるホームページは、魅力的で、見やすく、分かりやすい、更にはリアルタイムで情報の更新を行っていくことが重要である。そのため、市職員全てが情報発信者である意識を持ち、効果的に情報発信するために、職員PR研修等により継続的に学ぶ機会を設ける。 また、ホームページだけでなく、各種SNS等での情報発信を充実させるため、各部、課毎のSNS等を活用した情報発信を支援する。	

1 事業属性

(単位：千円)

事業名	姉妹都市交流促進事業							事業コード	020112130112		
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち					政策目標	3 地域に参画する新たな担い手の拡充			
	施策名	2 関係人口としての福知山ファンの獲得						施策コード	132		
事業担当	所属	030200 市長公室秘書広報課					所属長	横山 美和子			
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	12 諸費	会計	01 一般会計	決算附属資料	90・91	頁
計画期間	開始年度	昭和58年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R7現在の状況	継続中	
根拠法令等	—										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()										
関連事業	—										

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 昭和58年3月1日に姉妹都市提携を行った長崎県島原市との交流事業であり、40年間続いている事業である。継続的に島原市との交流を行っており、近年はお互いの市で開催するイベントでの物産展コーナーにおいて、それぞれの市から職員等を派遣して物産展の開催などを行っている。また姉妹都市締結記念日の前後には、お互いの市を紹介するパネル展を開催している。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 市民ぐるみで姉妹都市の交流を図るため、図書館や各支所など市民の方に御覧いただきやすい場所でのパネル展を実施しているほか、福知山マラソンでは島原市の方にお越しいただき物産展の出展やランナーとして出場いただいているが、毎年同じような事業となっており新たな取り組みが行えていない。そのため、まだ姉妹都市を認知されていない層への取り組み(SNSによる発信、等)も必要である。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づきまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 島原市と行政間だけでなく、市民ぐるみで、人・物・文化などの交流を促進し、相互理解や友好の絆を深める。この交流により「姉妹都市」を認知されるとともに姉妹都市となった経緯等も周知することで、市民の島原市に対する理解も深める。さらに、島原市民へ本市の情報等を発信することで本市の関係人口としてのファンの獲得にも寄与する。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ○福知山城築城400年事業における物産展コーナーで、福知山市の特産品を販売 ○福知山マラソンの物産展コーナーにおいて、島原市の職員による島原市の特産品販売 ○「提携記念日行事(巡回パネル展・クイズ企画。PR動画上映)」の実施 ○FMLしまばらでの「姉妹都市からこんにちは 福知山だより」コーナーにおける福知山の紹介					
対象者	福知山市民・島原市民		対象者数	117,000	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()					
委託先・実施主体等						
主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R6)	主な業務内容	費目	実績(R6)	主な業務内容
	旅費	294	島原市における福知山物産展の出店旅費、島原市記念式典出席旅費			
	需用費	16	提携記念日記念品購入			
	役務費	24	運搬費、手数料(クリーニング代)			

区 分		R5(評価前年度)	R6(評価年度)	R7(本年度)	R8(要求年度)
予算情報	① 当初予算	182	415	133	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計(①～③)		182	415	133	0
予算財源内訳	① 一般財源	182	415	133	0
	② 国支出金	0	0	0	0
	③ 府支出金	0	0	0	0
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	0	0	0	0
決算情報	① 流充用額	△ 88	0		
	② 配当予算	94	415		
	③ 執行額	87	335		
	④ 執行率	92.6%	80.7%		
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.05 / 0.25	0.09 / 0.18	/	/
	② 概算人件費	1,100	1,224		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,187	1,559		

主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	1000	2000	2500			
	物産展等来場者数	目標値		3000	3000	3000	3000	3000	
		達成度		%	33%	67%	83%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	2	3	3			
	物産展等開催数	当初見込		2	2	2	2	2	
				※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。					
活動内容① (アクティビティ)	島原市と本市、相互に、イベントでの姉妹都市物産展の開催、また姉妹都市提携記念日におけるパネル展示により、広く市民に周知する。また開催の機会を創出できるよう、相手方の担当部署との連携を図る。								

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること
	事業開始から40年以上が経過するものであるが、まだ市民へ姉妹都市の存在を浸透できておらず、特に旧三町に住民や若年層への周知が必要である。
現状の課題 に対する 改善策	物産展の開催やパネル展の実施など持続的に行うとともに、より広く来場していただけるよう広報の強化を行う。

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	ふくちやまサポーター拡大事業										事業コード	020112810560				
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち							政策目標	3 地域に参画する新たな担い手の拡充						
	施策名	2 関係人口としての福知山ファンの獲得								施策コード	132					
事業担当	所属	030600 市長公室ふるさと応援課							所属長	土田 信広						
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	12 諸費		会計	01 一般会計		決算附属資料	91・92		頁
計画期間	開始年度	平成28年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-				R7現在の状況		継続中		
根拠法令等	地方税法等															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 平成20年度にスタートしたふるさと納税制度は、今やショッピング感覚で返礼品を選ぶ1兆円規模の「市場」となっている。財源確保のため、全国の自治体が返礼品開発に取り組み、魅力的な返礼品を持つ自治体に寄附が集中するようになっている。ここで言う魅力的とは、コストパフォーマンスがよく、使いやすい食べ物や日用品のことで、魚介類、牛肉、フルーツに大きな人気が集まっている。市民も他自治体に寄附をするため、どの自治体も競争に参加しなければ一人負けする状況に置かれている。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ふるさと納税制度の実態は返礼品競争であり、税外収入による財源確保として市内の資源を生かし、どうやって寄附申込を集めていくかということが第一に取り組むべき大きな課題となっている。そのためには本市の地域資源の中から申込を集めることができる返礼品の開拓や開発が必要となっている。									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 人口減少や都市圏への人口集中が加速するなか、市民の力や市外の方の力を活かしたまちづくりを進めていくため、多様な形で関わっていただく方々(関係人口)を増やすことが重要となっている。そこで関係人口の拡大を進めるため、地域の魅力やふるさと納税などの情報を発信して、福知山市に魅力を感じ、継続的に応援してくださる方々の拡大を図る。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ターゲット① 市外のふるさと納税寄附者 ・各種ふるさと納税サイトでの寄附の受付・管理・運営 ・ふるさと納税返礼品事業の開拓・開発、開発支援 ・寄附者のスムーズな申込のサポート ターゲット② 市内外のふくちやまファン ・「いがいと！福知山ファンクラブ」会員の募集 ・会員への本市の魅力を情報発信(ダイレクトメールによる)									
対象者	市外居住者					対象者数	—		単位あたりコスト	#VALUE!
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (									

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	620,618		465,332		617,183		0						
	② 補正予算	0		100,800		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		620,618		566,132		617,183		0						
予算財源内訳	① 一般財源	228,242		36,291		14,183		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	392,376		529,841		603,000		0						
決算情報	① 流充用額	△ 112,748		△ 4,293										
	② 配当予算	507,870		561,839										
	③ 執行額	451,267		527,508										
	④ 執行率	88.9%		93.9%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.79	/	0.85	0.47	/	0.50	/						
	② 概算人件費	8,700		5,160										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		459,967		532,668										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	福知山市ふるさと納税寄附金		種類	総務費指定寄附金		実績金額	517,871		決算附属資料	33		頁
			ふくちやまサポーター拡大事業基金繰入(ふるさと納税基金)			基金繰入金			1,241			39		

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	110	76	121					
		目標値		100	100	100	100	100			
		達成度	%	110%	76%	121%	0%	0%			
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度			
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	品	500	750	950					
	ふるさと納税の延べ返礼品数	当初見込		—	—	900	1200	1400			
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 ・ふるさと納税返礼品の開拓・開発【対象:返礼品事業者】 ・ふるさと納税返礼品ページの改善・SEO対策【対象:返礼品事業者、寄附者】 ・ふるさと納税サイトの運営【対象:返礼品事業者、寄附者】										
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度			
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	3470	3655	3752					
		目標値		3300	3550	3700	3800	3900			
		いがいと！福知山ファンクラブ市外会員数	達成度	%	105%	103%	101%	0%	0%		
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度			
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	10	10	10					
	会員募集に関する情報提供回数	当初見込		10	10	10	10	10			
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 ・SNSによる情報発信【対象: SNSフォロワー、ふるさと納税寄附者、その他】 ・加入キャンペーンの実施【対象: 既存会員、SNSフォロワー、ふるさと納税寄附者、その他】										

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	ふるさと納税では、平成28年度に民間事業者が運営するふるさと納税サイトの活用により寄附者がアクセスしやすい環境整備をしたことで寄附件数、寄附額とも一定確保していた。ふるさと納税が通信販売のような状況に近づいていたことから、令和5年度には、新たに中間事業者を導入し、寄附者に選ばれやすい返礼品開発や返礼品ページの構築をしたが、総務省のルール改正、主力返礼品の製品リニューアルに伴う取扱い終了などの要因により、寄附額が低下した。しかし、次第にサイトの特性に応じた運用と中間事業者と連携した商品開発や返礼品事業者とのコミュニケーションが成果を発揮し、令和6年度は寄附額が初めて5億円を突破し、過去最高となった。 企業版ふるさと納税では、企業訪問等により、平成29・30年度で1社から、令和元年度で2社、令和2年度で1社、令和3年度で3社、令和4年度で5社、令和5年度で6社、令和6年度で4社からの寄附実績があった。「いがいと！福知山ファンクラブ」会員について、令和元年度より福知山の魅力を表現したオリジナル会員証を発行している。令和6年度末までに市内外を含めた総会員は3,969人となり、多くの方に福知山の魅力を発信し、良い関係構築に努めている。 課題としては、ふるさと納税制度に注力する自治体が増え、競争が激化しており、今まで以上に魅力的な返礼品を開発するなど、事業に対し戦略的な取り組みの強化が求められている。	
現状の課題 に対する 改善策	ふるさと納税での自治体間競争に対応するため、新たな返礼品の開拓、定期便や高付加価値返礼品の開拓、新たなサイト追加、ふるさと納税の通信販売化を踏まえた検索エンジン最適化対策などを絶えず継続し、寄附者との接点を増やす体制を強化するとともに、継続的に福知山市を応援いただける関係人口の増加に努める。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	福知山PR戦略総合推進事業										事業コード	020112820134		
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち						政策目標	3 地域に参画する新たな担い手の拡充					
	施策名	2 関係人口としての福知山ファンの獲得								施策コード	132			
事業担当	所属	030600 市長公室ふるさと応援課						所属長	土田 信広					
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	12 諸費		会計	01 一般会計	決算附属資料	92・93	頁
計画期間	開始年度	平成29年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	—			R7現在の状況		継続中	
根拠法令等	—													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 人口減少や少子高齢化が進むなか、持続可能で発展性のあるまちづくりのためには「関係人口」がキーワードとなっている。その入口として、本市の地域ブランドを高め、福知山ファンを増やす必要がある。市外に対しては、例えばふるさと納税寄附者やイベント参加者といった接点のある人にファンクラブへの加入を促進するなど、継続的で多様な関係性を築くことが重要となっている。											
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきこと ・市外の「福知山ファン」の増加のみならず、その中で「地域に参画する新たな担い手」になる道筋も作ること。そのために、市が実施している施策や各種団体との連携を深め、「福知山ファン」のなかで特に意欲の高い人が、施策や各種団体が行う「地域に参画する新たな担い手」を創り出す事業に参画できるようアプローチする必要がある。 ・市外の人が魅力に感じる要素を的確に伝えられるよう、移住者や市外転出者といった「内外の視点を持つ人々」の声を聞き、現状分析や取組の方向性の明確化に役立てていく。											
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 本事業は、まちづくり構想の施策1-3-2「関係人口としての福知山ファンの獲得」に位置づけられている。将来に向けて、市外の「福知山ファン」や市民がまちづくりの担い手や応援者となることを目的に、引き続き情報発信などのコミュニケーション活動を通じて、関係人口(多様な形で地域に関わる市外の人々)の拡大や市民のシビックプライドの醸成に取り組んでいく。											
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること (1)市全体のPR力強化…全庁的な連携体制を強化し、市の事業や資源、大阪・関西万博といった好機を生かした情報発信や事業支援等のPR活動。具体的には、他事業のプレスリリース・SNS発信、福知山マラソンやふるさと納税と協働したPR企画、移住・関係人口記事の作成・発信、大阪・関西万博に向けたPR活動、首都圏・関西圏メディアへのアプローチ、他事業のPR相談対応など。 (2)光秀マインド／シビックプライド醸成…「福知山の変」など福知山市に通底する「まちづくりへの挑戦心＝光秀マインド」をコンセプトにしたPR活動、「福知山イル未来と実行委員会」への参加・広報、市大使・千原ジュニアさんの句碑建立、市民参加型「鬼鬼祭」実施、市内学校のシティプロモーション活動支援など。											
対象者	市内外の人々				対象者数		－		単位あたりコスト		#VALUE!	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☒ その他 (											

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	38,000		31,733		12,178		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		38,000		31,733		12,178		0						
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0						
	② 国支出金	18,777		15,850		5,645		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	19,223		15,883		6,533		0						
決算情報	① 流充用額	0		△ 3,023										
	② 配当予算	38,000		28,710										
	③ 執行額	36,192		27,980										
	④ 執行率	95.2%		97.5%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	3.25	/	0.90	2.86	/	0.95	/						
	② 概算人件費	28,520		25,540										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		64,712		53,520										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	福知山PR戦略総合推進事業(デジタル田園都市国家構想交付金)		種類	総務費国庫補助金		実績金額	13,407		決算附属資料	14		頁
			いがいと！ポロシャツ			物品売払収入			435			33		
			地域活性化化寄附金			総務費指定寄附金			308			33		
			福知山PR戦略総合推進事業基金繰入(ふるさと納税基金)			基金繰入金			13,500			39		

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。		成果実績	人		3470	3655	3752			
			目標値			3300	3550	3700	3800	3900	
	いがいと！福知山ファンクラブ市外会員数		達成度	%		105%	103%	101%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	回		10	10	10			
	会員募集に関する情報提供回数		当初見込			10	10	10	10	10	
活動内容① (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 ・SNSによる情報発信【対象：SNSフォロワー、ふるさと納税寄附者、その他】 ・加入キャンペーンの実施【対象：既存会員、SNSフォロワー、ふるさと納税寄附者、その他】									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度		
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。		成果実績	件		1817	1950	1513			
			目標値			800	800	800	—	—	
	メディア記事掲載件数(※転載含む)		達成度	%		227%	244%	189%	#VALUE!	#VALUE!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	件		65	55	53			
	プレスリリース配信件数		当初見込			40	40	40	—	—	
活動内容② (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 ・本事業のプレスリリース作成・配信 ・他事業のプレスリリース添削・配信									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること								
	上記指標のほか、成果としては、 ○ふるさと納税や福知山マラソンと連動したシティプロモーションを行い、寄附額・参加者増加に貢献。○移住・関係人口創出事業の担当部署や外部団体・学校と連携して、令和6年度は市の魅力発信記事約20本と動画約10本の制作・公開などを行い、ファンクラブ会員やSNSフォロワー増加に貢献。○市の大使・千原ジュニアさんが詠んだ俳句の句碑建立や節分などの好機を生かして市民参加型のシティプロモーションを行い、テレビ含め多数のパブリシティを得る。○「福知山の変」が全国広報コンクールで入選。広報企画部門(シティプロモーション)としては5年連続入賞。○実行委員会に参加する「福知山イェル未来と」が「ふるさとイベント大賞」で府内初となる「大賞・内閣総理大臣賞」受賞。○シティプロモーション活動を支援した福知山高校附属中学校の広報グループが「シティプロモーションアワード」で「奨励賞・協賛社賞」を受賞。○他事業のPR相談に年100件以上対応し、知見をシェア。など このように、「関係人口の拡大とシビックプライドの醸成」を目的に、市外の人も市民も時には職員もターゲットにし、事業名に「PR戦略総合推進」とあるように幅広く事業を展開してきたが、今後は予算リソースおよび人的リソースが少ない中でも継続できるよう、よりターゲットを絞った効率的な展開を行っていくことが課題である。								
現状の課題 に対する 改善策	令和7年度は、「ふくちやまプロモーション事業」として、ターゲットを「市外在住者」に絞り、事業内容も「ふるさと納税との相乗効果のあるシティプロモーション」に絞る。「ふくちやまサポーター事業」の中からファンクラブ運営を本事業に統合し、事業の効率化を図りながら、市外ファンの拡大とふるさと納税の寄附増加をめざす。また本事業のうち、他事業の広報強化に関する部分は「市政案内事業(令和7年度からは、広報広聴戦略推進事業)」に移行する。								

(単位：千円)

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。		成果実績	人	1222	1402	1678			
			目標値		1930	1320	1400	1550	1550	
	宿泊者数			達成度	%	63%	106%	120%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	日	315	313	313			
	施設開館日数		当初見込		311	311	311	311	311	
	活動内容① (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 ・指定管理者と毎月面談を行い、運営状況の確認と現場での課題把握等を行う。 ・施設の修繕及び改修を実施する。							
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。		成果実績							
			目標値							
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績							
			当初見込							
	活動内容② (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	・宿泊者数は過去最多の利用者数であり、宿泊者及びキャンプ場利用者の半数以上は市外からの利用であることから、事業目的に沿った施設運営ができている。 ・さらなる施設利用者数の増加を図る取組が課題である。	
現状の課題 に対する 改善策		
	・より多くの人に施設を知ってもらうために、指定管理者と連携しながら市としても施設のPR強化を図る。	